



2019年10月29日

各位

会社名 ANAホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 片野坂 真哉
(コード番号 9202 東証第1部)
問合せ先 グループ総務部長 坂爪 浩
(TEL . 03-6735-1001)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2019年4月26日に公表した2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の通期連結業績予想を修正することとしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 2020年3月期通期連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)の修正について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,150,000	百万円 165,000	百万円 160,000	百万円 108,000	円 銭 322.75
今回修正予想(B)	2,090,000	140,000	137,000	94,000	280.93
増減額(B-A)	△60,000	△25,000	△23,000	△14,000	—
増減率(%)	△2.8	△15.2	△14.4	△13.0	—
(参考)前期連結実績 (2019年3月期)	2,058,312	165,019	156,681	110,777	331.04

2. 修正の理由

上期の売上高は前年同期に比べて179億円増加しましたが、米中貿易摩擦等による貨物需要の減少や、国際線ビジネス需要の一部に伸び悩みが見られたこと等により、当初想定を下回りました。下期についても、この基調が継続すると見込まざるを得ないことに加え、LCC事業においても他社との競合が激化しております。これらの影響を勘案した結果、通期の売上高は当初予想と比べて600億円程度減少し2兆900億円の見通しとなりました。

かかる状況の下、下期における収入増並びに着実な費用減に努めてまいります。通期の業績予想につきましては、売上高の減少に伴い、営業利益は当初予想から250億円減益の1,400億円、経常利益は1,370億円、親会社株主に帰属する当期純利益は940億円と減益を見込まざるを得ないものと判断いたしました。

なお、算出にあたりましては、米ドル円為替レートを110円、航空燃油費の一指標でありますドバイ原油の市場価格を1バレルあたり65米ドル、シンガポール・ケロシンを1バレルあたり80米ドルとしております。

以上